

一般農道整備事業 きぬがさ2期地区

地区概要

所在地：東近江市、近江八幡市
 主要工事：道路整備 2.1km
 総事業費：629百万円
 工期：平成15年度
 ～平成21年度

事業目的

本地区は、古くから生産基盤整備が行われ営農が盛んであり、中でも、大中之湖干拓地においては、野菜類の出荷量も県内の上位を占めている。しかし、**出荷ルートの整備が遅れ、農業輸送に支障**を来していた。こうした状況を改善するため、本農道を整備して**輸送時間の短縮、安全性の向上**を図った。

平面図

滋賀県きぬがさ2期地区（一般農道）計画一般図 縮尺 1/50,000



直売所

集荷施設

県道大津能登川長浜線

国道8号線

国道・八日市IC方面

県営ふるさと農道(トンネル)

きぬがさ2期地区
 L=2,140m
 (全長 3,330m)

きぬがさ地区(1期)
 L=1,190m
 (全長 3,330m)



直売所



直売所

事業効果

本農道の完成により、
 ・大中之湖干拓地と旧能登川町地先の農道網が完成した。
 ・国道8号線、八日市ICへのアクセスが大きく改善された。



農作物の輸送



営農資材の輸送

↑営農資材・農産物の輸送時間が短縮した。



一般交通状況

←生活道路等の一般交通の改善が図られた。

受益者等の意見

- ・受益地や干拓地内集荷施設(JA等)から国道8号線、八日市ICへのアクセス非常に良くなった。
- ・受益地内の直売所への外部からのアクセスも良くなった。

今後の課題

・本事業で造成した農道は、「県道2号線大津能登川長浜線」に接続し、市街地を迂回する立地条件にあり、地域の重要な道路として活用されている。今後も引続き舗装面の補修整備などの維持管理の継続的な実施が必要である。